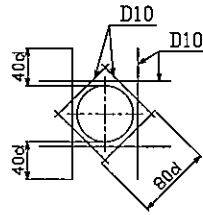


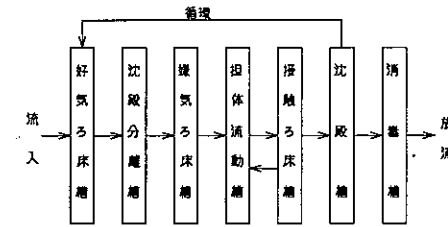
頂版開口図

S=1/40

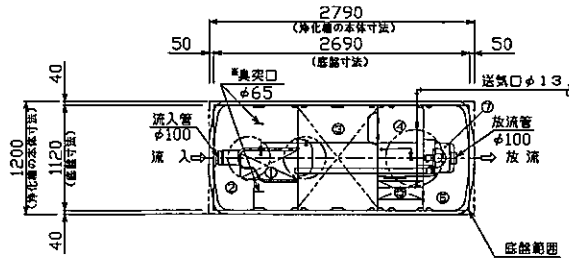


開口補強筋要領図

S=1/40

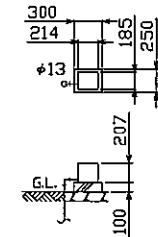


フローシート

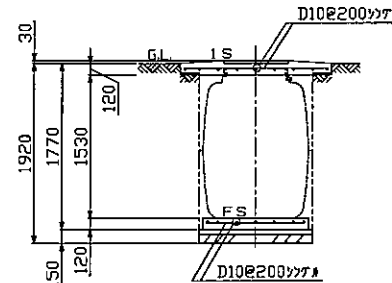


平面図

S=1/40

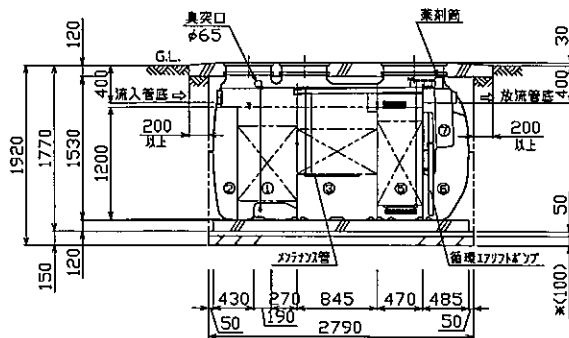


送風機 平面断面図



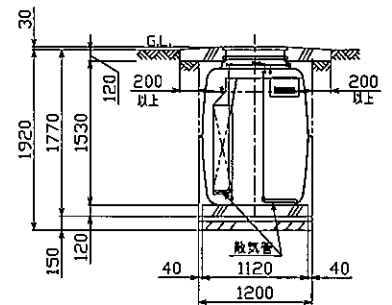
B-B断面配筋図

S=1/40



A-A断面図

S=1/40

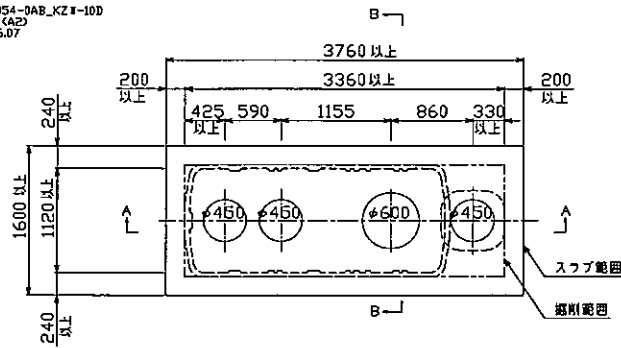


B-B断面図

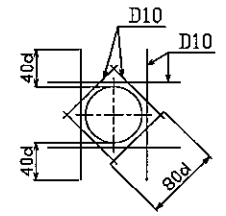
S=1/40

仕様	
機種 / 型式	合併処理ノックZ1-10
処理方法	固体流動接触ろ床槽方式
処理対象人員	10人
一人当り汚水量	0.2 m <sup>3</sup> / 人・日
計画汚水量	2.0 m <sup>3</sup> / 日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	180 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m <sup>3</sup>	
① 好気ろ床槽	0.208
② 沈殿分離槽	0.850
③ 嫌気ろ床槽	1.053
④ 担体流動槽	0.428
⑤ 接触ろ床槽	0.081
⑥ 沈殿槽	0.579
⑦ 消臭槽	0.023
総容量	3.222
電気機器仕様	
送風機	120L/分(0.015MPa) 100V, 75W, 1台

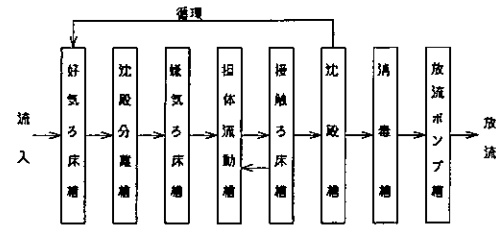
特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18(15)-20(25) 級、捨てコン・舞踏コンクリートは FC=18N/m <sup>2</sup> 鉄筋 SD295A(商品名) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	墨が手・定着長さ 全て40dとする
* 砕石厚サの条件 (本図は砕石100mmとする)	
地盤	土質 岩盤・土丹 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム N値 N≧10 N<10 N≧10 N<2 N≧2
地業 (砕石)	層別 地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利 厚さ(mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40kN/m <sup>2</sup> (想定)
その他	・埋置1m以下の場所に設置して下さい。 ・施工時に地盤、地下水位を調査し、地耐力を調査して下さい。 ・埋置面の地盤に耐える地盤に設置して下さい。 ・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 ・かさ上げが300mmを超えないようにして下さい。 ・本図はかさ上げ100mm時の施工図です。 ・上層スラブは必ず土厚で200mm以上土層と同等面積に布設して設置して下さい。 ・直埋化剤はパイプが埋め込まれる位置に土壌改良剤を散布するよう設置して下さい。 ・その他埋置面の布設など現場の状況に応じて上層スラブの布設を調整して下さい。 ・埋置面は、埋置層2工以下の断面となります。 ・製品全面は、±10mmの公差があります。 ・流入流出管は、製品全面に対して±10mmの公差があります。 ・浄化槽全面は、本体断面を含む高さで表記。
* 臭気室 (排気室) について	・設置場所が風通しが悪く臭気がこもるような場合や放流ポンプ場がある場合は、必ず臭気室(または排気室)工事をして下さい。 ・詳細は、施工要領書を参照下さい。



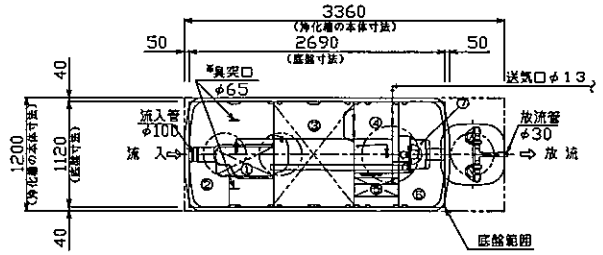
頂版開口図 S=1/40



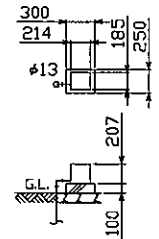
開口補強筋要領図 S=1/40



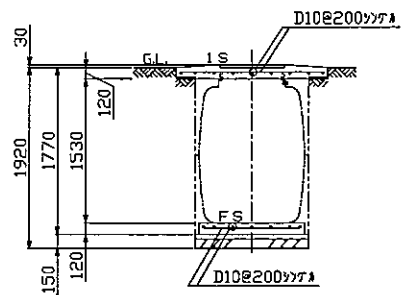
フローシート



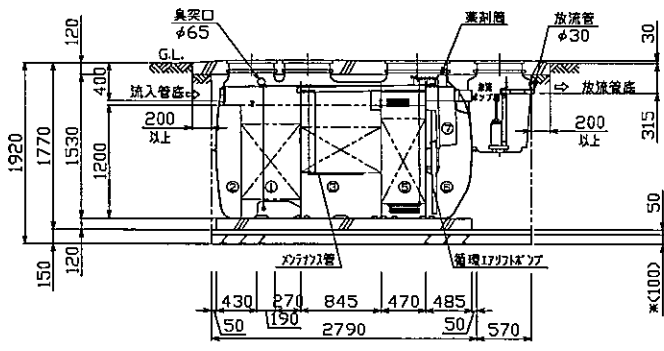
平面図 S=1/40



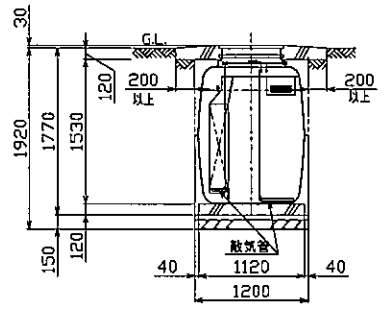
送風機 平面断面図



B-B断面配筋図 S=1/40



A-A断面図 S=1/40



B-B断面図 S=1/40

仕 様	
機種 / 型式	合併処理ノズルⅡ-10 (D)
処理方法	柜体流動接触床循環方式
処理対象人員	10人
一人当り汚水量	0.2 m <sup>3</sup> /人・日
計画汚水量	2.0 m <sup>3</sup> /日
流入水BOD濃度	200 mg/L
放流水BOD濃度	20 mg/L
BOD除去率	90%以上
流入水T-N濃度	45 mg/L
放流水T-N濃度	20 mg/L
T-N除去率	56%以上
流入水SS濃度	160 mg/L
放流水SS濃度	15 mg/L
SS除去率	91%以上
有効容量 m <sup>3</sup>	
① 好気ろ床槽	0.208
② 沈殿分離槽	0.850
③ 嫌気ろ床槽	1.053
④ 柜体流動槽	0.428
⑤ 接触ろ床槽	0.081
⑥ 沈殿槽	0.579
⑦ 消 毒 槽	0.023
総 容 量	3.222
⑧ 放流ポンプ槽	0.060
電気機器仕様	
送風機	120L/分 (0.015MPa) 100V, 75W, 1台
放流ポンプ	40L/分 x 3.9m x 0.15kW x 2台 100V, フォートスイッチ付 自動交互運転

特記事項	
使用材料	コンクリート FC=21-18 (15)-20 (25) 但し、捨てコン・埋筋コンクリートは FC=18N/m <sup>3</sup> 以上 鉄筋 SD295A (高張力) 特記なき事項はJASS5による。
配筋事項	縦ざね・定着長さ 全て40dとする * 砕石厚さの条件 (本図は砕石100mmとする)
地 盤	土質 岩盤・土層 砂礫・砂 シルト・粘土・ローム N値 N <sub>10</sub> N <sub>20</sub> N <sub>30</sub> N <sub>40</sub> N <sub>50</sub>
地 業	地 種 地はだ 砂利 砂利 砂利 砂利 厚さ (mm) 100 100 60 150 60
地耐力	必要地耐力 40 kN/m <sup>2</sup> (想定)
その他	・積雪1m以下の場所に設置して下さい。 ・施工時に地盤、地下水位を調査し、地耐力を確認して下さい。 ・要箇所の位置に耐える地盤に設置して下さい。 ・地下水位に応じて浮上防止をして下さい。 ・かさ上げが300mmを超えないようして下さい。 ・本図はかさ上げ100mm時の配筋図です。 ・土層が砂利層で200mm以上厚ければより断面面積に応じて寸法を調整して下さい。 ・直撃日光に当たらないよう汚化槽の直上に遮光物が設置するよう設置して下さい。 ・その設置場所の底面が地盤面に対してかさ上げが対応を調整して下さい。 ・組立面は、総重量2T以下の専用となります。 ・製品公差は、±10mmの公差があります。 ・流入配出管は、製品公差に対して±10mmの公差があります。 ・汚化槽公差は、本体取合公差で表記。
※ 臭気対策 (排気管) について	・設置場所が風通しが悪く臭気がこもるような場合や放流ポンプ槽がある場合は、必ず臭気配管 (または排気管) 工事をして下さい。 ・詳細は、施工要領書を参照下さい。